

機械器具 55 医療用洗浄器
一般医療機器 器具除染用洗浄器 JMDN コード: 35424000

Getinge Aquadis 56 シリーズ

【警告】

1. 使用方法

- (1) 運転中のドアには、手や腕を近づけないこと。[怪我の恐れがあるため。]
(2) 装置・被洗浄物は高温になるため、手袋を着用し直接触れないようにすること。[火傷・怪我の恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

代表例としてオートマチックドアモデルを示す。



寸法

機種	幅	奥行	高さ
マニュアルドアモデル	650mm	690mm	2000mm
オートマチックドアモデル	650mm	760mm	2000mm

2. 機器の分類

電撃に対する保護の形式	クラス I 機器
電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)	IP21

3. 電氣的定格

電源電圧	AC200V (許容電圧変動範囲: $\pm 10\%$)		
電源周波数	50/60Hz		
電源入力	電気 / 電気 (ターボ)	27.5A / 50.9 A	
	蒸気	15.9A	
	電気・蒸気加熱式	27.5A	

4. 構成ユニット

- (1) Getinge Aquadis 56 シリーズ 本体
(2) 付属品 (使用用途に合わせて選択)
1) 各種洗浄ラック
2) 排気冷却システム (CCU)
3) ローディングトrolley

搬入・搬出を行うドアの枚数や、水の加熱方式は選択が可能である。

《加熱の方式》

電気 / 電気 (ターボ) 加熱式: 電気 で水を加熱する方式
蒸気加熱式: 蒸気 で水を加熱する方式
電気・蒸気加熱式: 電気 または 蒸気 で水を加熱する方式

《ドアの枚数》

- 1 枚: 洗浄器の前面のみ
2 枚: 洗浄器の前面と後面

5. 作動原理

本品は、内蔵する 2 個の循環ポンプにより水を循環、加熱し、設定された温度、時間で被洗浄物の洗浄・消毒・乾燥を行う。プログラム毎に「水の量、温度、作動時間、乾燥時間」等が設定されており、被洗浄物に合わせて選択する。

【使用目的又は効果】

本品は、再使用可能な手術器具、麻酔器具、靴、及び他の手術用具の除染・消毒のために用いる洗浄器である。乾燥機能を内蔵している。

【使用方法等】

- 主電源スイッチを ON にして電源を入れる。
- 必要に応じて、洗浄槽が空の状態 で洗浄槽の消毒プログラムを稼働する等、洗浄器を安全に使用するための準備を行う。
- 被洗浄物から洗浄できない部品を取り外し、被洗浄物の予備洗浄を行い、洗浄ラックに載せる。
- 洗浄ラックを載せたローディングトrolleyを洗浄器にドッキングさせ、洗浄ラックを洗浄槽へ搬入する。
- 手動またはバーコードスキャナー (オプション: オートマチックドアモデルのみ) によりプログラムを選択し、洗浄工程を開始する。
- 工程が完了すると、タッチスクリーンに「Complete」表示がされる。
- ローディングトrolleyを洗浄器にドッキングさせ、洗浄ラックを洗浄槽から搬出する。
- 被洗浄物を洗浄ラックから取り出し、洗浄・消毒の状況を確認する。
- 主電源スイッチを OFF にして電源を遮断する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

詳細は取扱説明書を参照のこと。

- 72 時間以上、本品が使用されていない場合、器具を洗浄する前に、洗浄槽が空の状態 で「Dosing Priming」プログラムを実行すること。
- プログラムを中断しないこと。中断した場合、再度、プログラムを実行すること。[被洗浄物が正しく洗浄・消毒されないため。]
- 洗浄槽内の温度が下がってから、清掃すること。
- ストレーナーやその周辺のパーツは高温になっている場合があるので、表面の温度が下がってから、清掃すること。
- 弊社が規定した付属品以外は使用しないこと。
- * 本品の使用にあたり、検証済みである弊社製純正もしくは弊社が指定する洗浄剤を使用すること。[検証されていない洗剤を使用した場合、期待される洗浄効果が得られなかったり、不具合が発生するおそれがあるため。]
- 製造元が指定した洗浄・消毒等の手順以外は行わないこと。
- 誤った選択プログラムを選択すると、正しく洗浄・消毒が行われなため、適切なプログラムを選択しているか注意して確認すること。
- 本体の設置やメンテナンスは、弊社の認定作業員のみが実施すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

温度: $-20 \sim 60^{\circ}\text{C}$
最大湿度: 90% (30 $^{\circ}\text{C}$ で保管の場合)

2. 耐用期間

指定された保守点検を実施した場合、10 年もしくは 40,000 回までの使用 [自己認証 (当社データ) による]

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

詳細は取扱説明書を参照のこと。

- 洗浄槽の底部に落下物が残っていないかチェックすること。
- スプレーウイングが支障なく回転しているかチェックすること。
- スプレーウイングの穴が詰まっていないかチェックすること。

- (4) 洗浄槽に接続する付属品が接続口に適切に接続されているか確認すること。
- (5) 洗浄槽内のストレーナーが清潔で、ストレーナーから水が流れるか確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲

*TEL 03-5463-8310

外国製造業者:

国名:スウェーデン

Getinge Disinfection AB

(ゲティンゲ ディスインフェクション エービー)